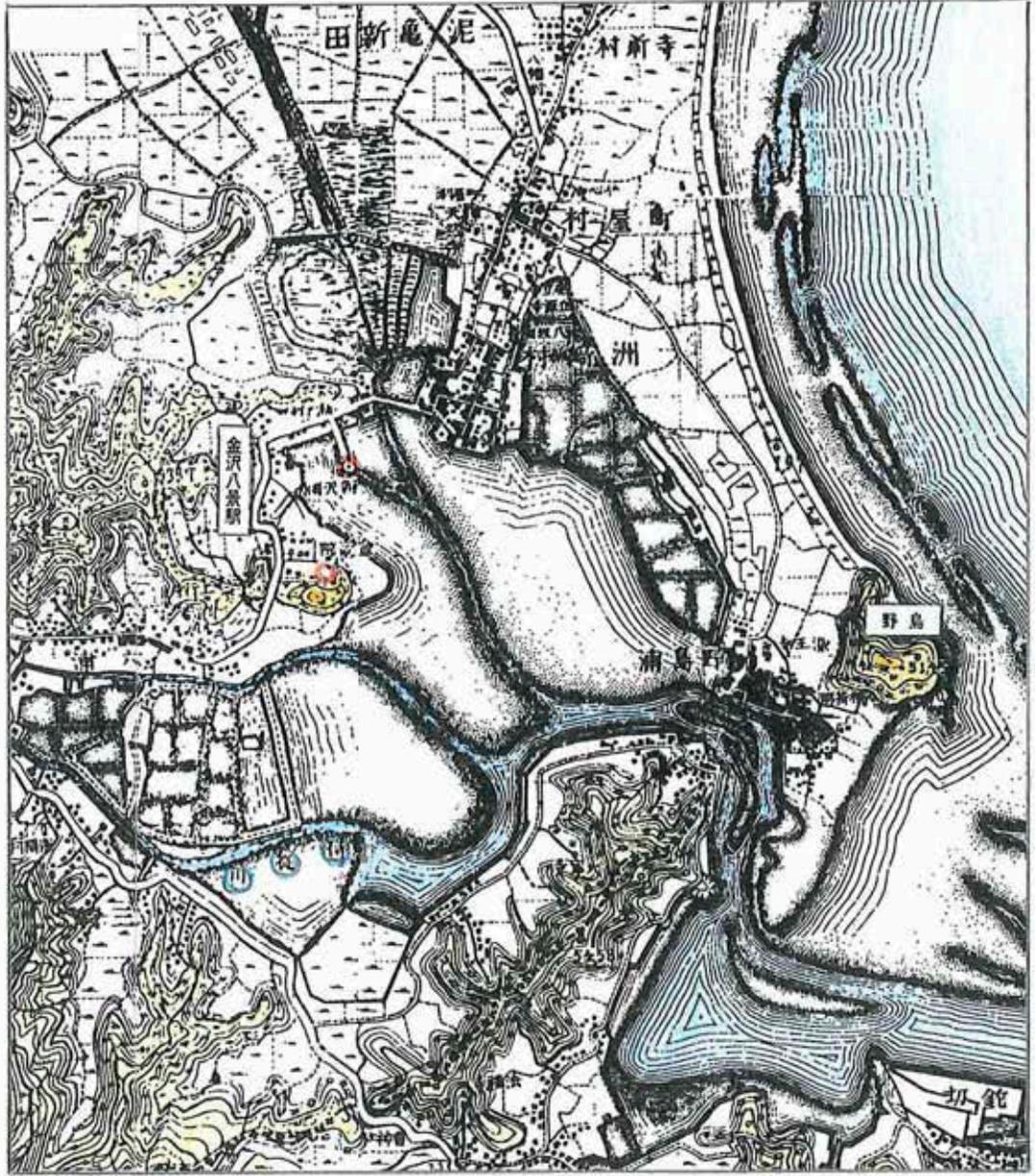


2008.3.8 (京浜東北線)
 金沢文庫 → 130 区間
 小児 70円 2103
 0547 09:55



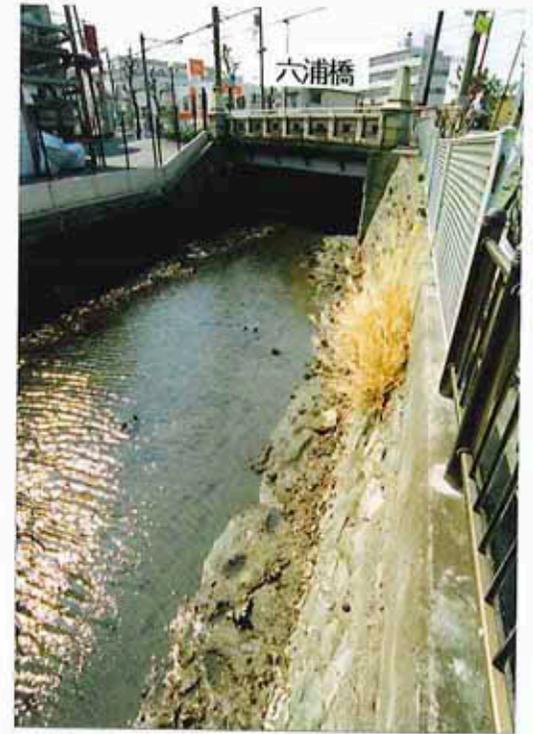
明治前期の頃の周辺の地形図



下の絵と同じ方向から見る。



八景の「野島夕照」 歌川広重



侍従川に架かる六浦橋





マダニヤイ
とと 散歩旅 258

2/29 (土) 朝日

平林寺の山門。奥に
広大な雑木林がある
|| 埼玉県新座市



志木街道24 平林寺
平林寺(埼玉県新座市野
火止3丁目)の境内を歩く
と広大な雑木林に驚いた。

歴史ある雑木林「後世に残す」

約43軒(東京ドーム約9個分)の敷地にクヌギやコナラなどの木々が広がり、1周約1.5kmの散策路がある。冬場の今は枯れ木が趣深い。年間5万人を超える入山者の大半は紅葉の時期に集中するという。

臨済宗妙心寺派の古刹で、江戸時代に徳川家光に仕えた川越藩主、松平信綱の遺命で1663年に岩槻(現・さいたま市岩槻区)から移った。信綱はこの地域に「野火止水」を開削した人物。原野が広がっていたが、水を引いたことで人口が増え、薪や肥料に使う木々が1帯に植えられた

昭和の宅地開発で地域の雑木林は大幅に減少したが、平林寺は林を守り、1968年に国の天然記念物に指定された。住職の松竹寛山さん(60)は「多様な生物が生息するこの林は貴重です。禅の修行のための静かな環境を守る必要もありました」と経緯を話す。

近年は増えた高木などが日差しを妨げ、地表の植物や昆虫などの生態系に影響が見られるため、古い木を伐採し新たな芽も育てている。「手間と費用がかかりますが、景観をしっかりと後世に残します」(吉岡寛)



寛文3年(1663)岩槻から移る。茅葺き屋根の総門が残っている。



97 《埼玉県》

金鳳山 平林禅寺

|| 野火止水を利用した広大な庭園を持つ禅寺 ||

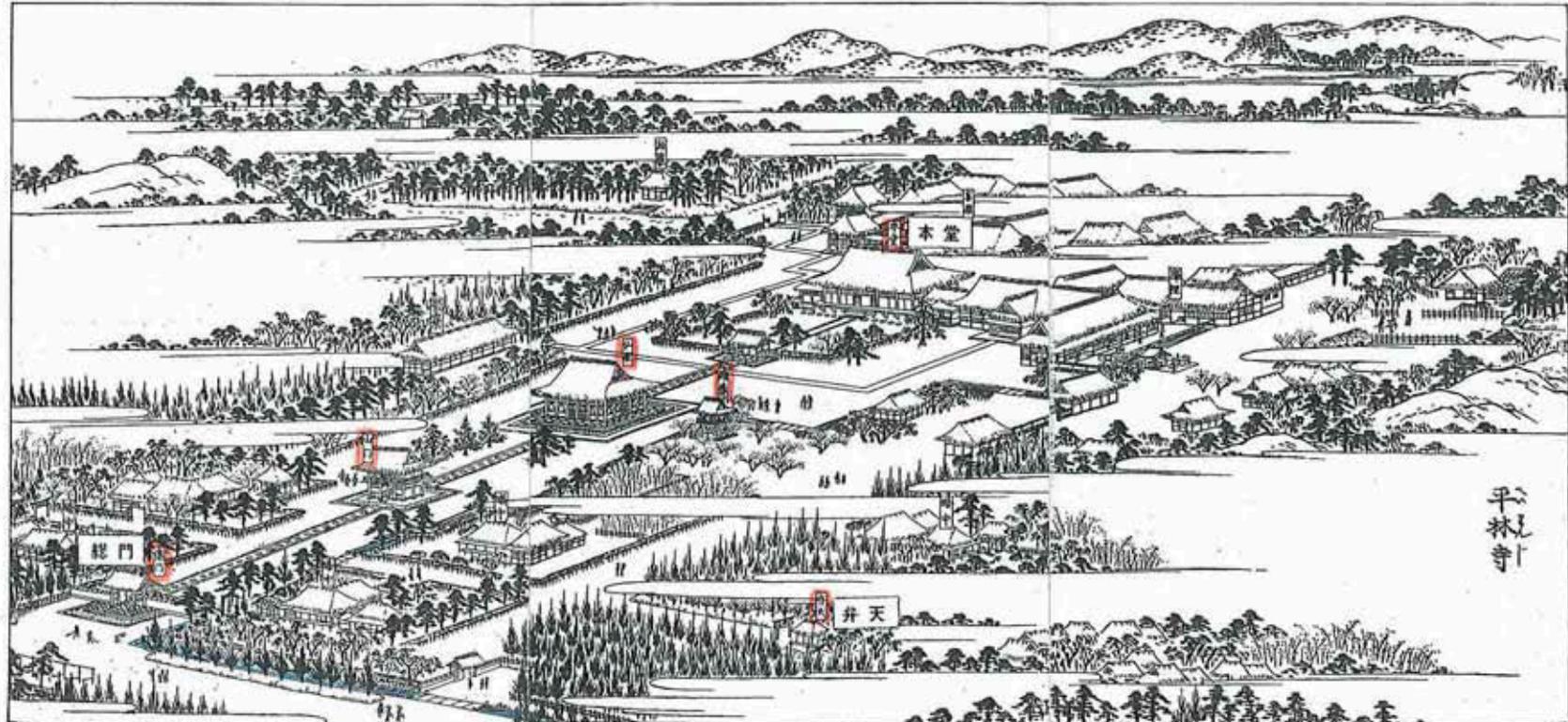
埼玉県新座市野火止 三の六

金鳳山平林禪寺

養心院と號す。

野火留街道より八町程東にあり。

花洛妙心寺派の禪林なり。



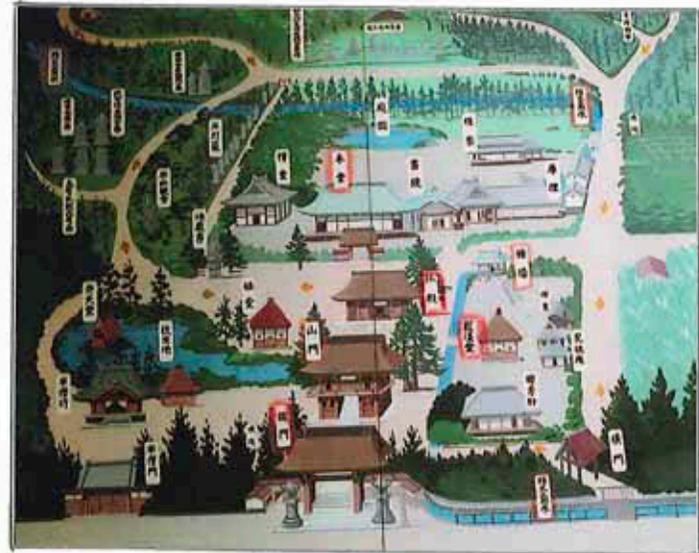
元は、南北朝時代前期の永和元年（1375）創建の禪宗の寺。広さ約20万坪ある。



境内を流れる野火止用水



平林寺周辺の野火止用水 『歴史と風土 武蔵野』



平林寺の境内図

野火留 河越街道の立場にして、膝折驛より一里あまり西の方にあり。大和田の驛へも一里計ありて、間の宿なり。

98 大宮氷川神社 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町一丁目四〇七

武蔵国の一の宮といわれるが、府中の小野神社も一の宮



現在の社殿は昭和15年改築のもので、この時に三神を改めて一緒に祀る様になった。祭神は真中が夫の須佐之男命・右が妻の稲田姫命・左が子孫の大己貴命（大国主命）の三人家族。氷川神社は東京・神奈川を中心に230社程ある。



本殿左奥にある蛇の池の水源。ここが神社発祥の元の源水。

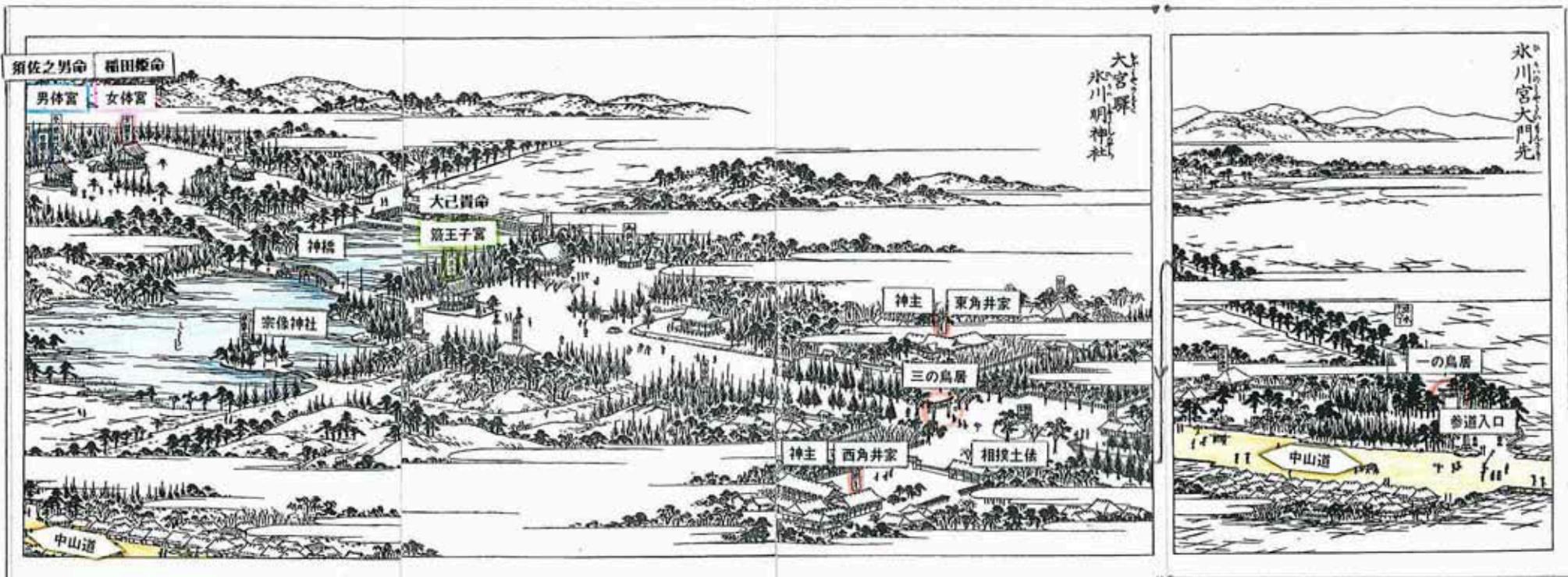


昔は見沼の入江が入り込んでいた。



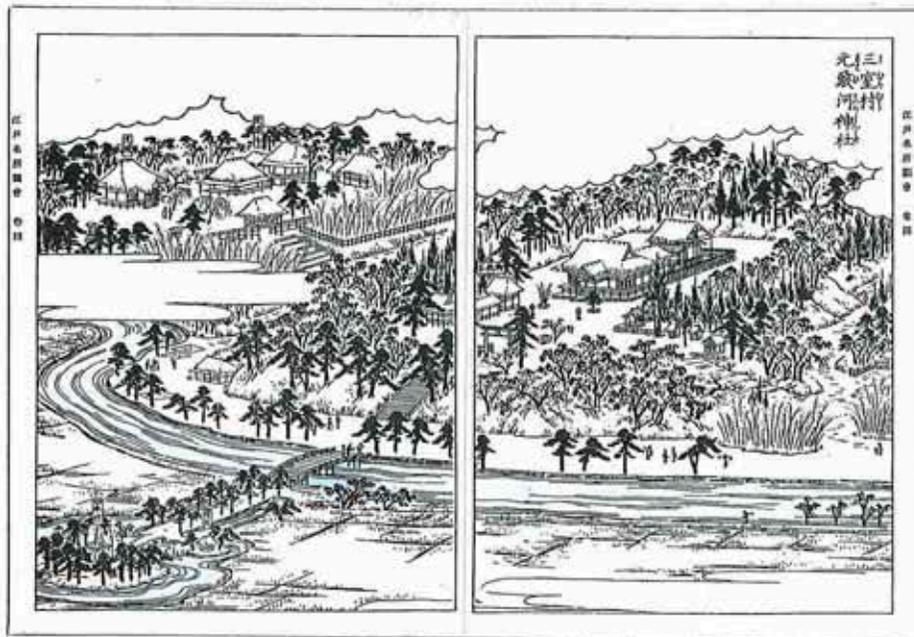
神橋の左側の池。宗像神社がある。

大宮氷川神社 大宮驛の中、此所を氷川戸庄 高鼻村といふ。街道の右の方に鳥居・立石あり。景行天皇の御宇、日本武尊東夷征伐に越ぎ給ふ頃、當社に御祈誓ありて、程なく凶徒を鎮め給ふ。



5代孝昭天皇3年（BC473）の創建ときわめて古いが、東京府中市の小野神社は3代安寧天皇18年（BC531）とこちらの方がもっと古い。

約2 kmも参道が続く



氷川神社の旧地「元鏡河神社」元の祭神は稲田姫命一神のみ。



現在さいたま市緑区宮本2-17にあり「氷川女体神社」という。

〓およそ千有余年も続いたという塩の生産地〓



千鳥橋から西側の野鳥の楽園方向を見る。右側には宮内庁の新浜鴨場がある。



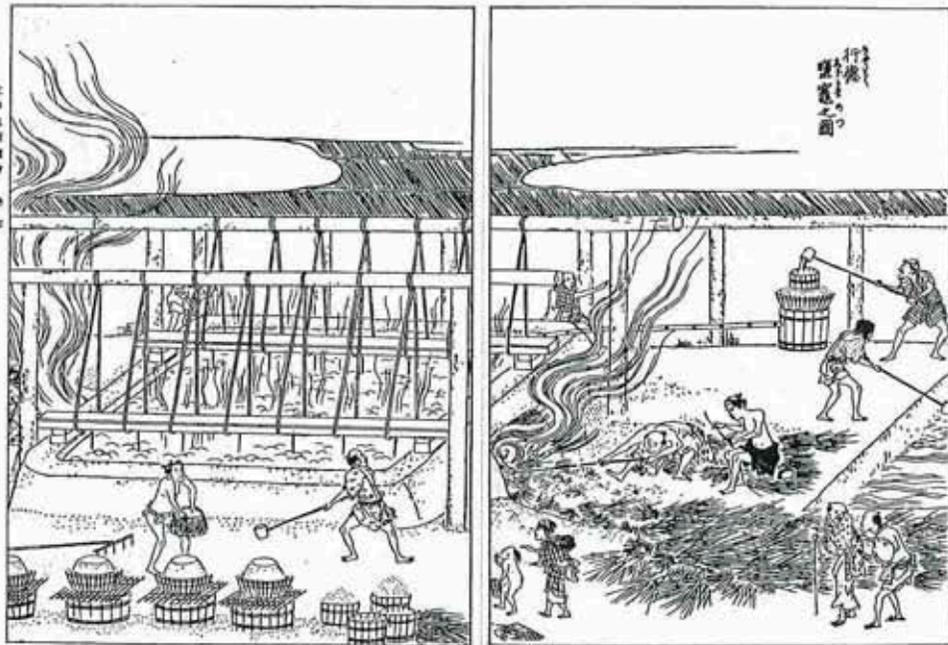
同じ千鳥橋より東側の塩田のあった方面を見る。左側に塩田があった。



J R 京葉線の市川塩浜駅

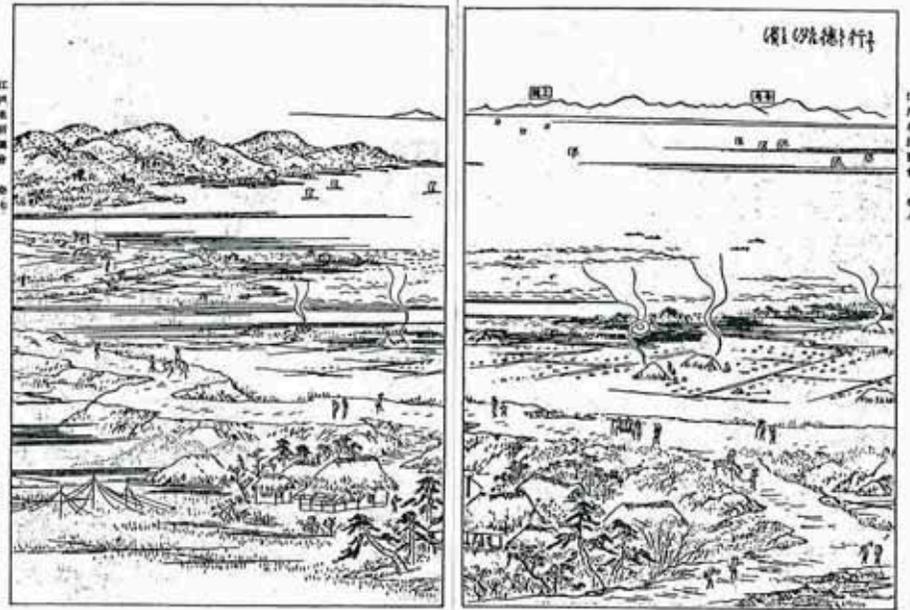


行徳塩釜之図



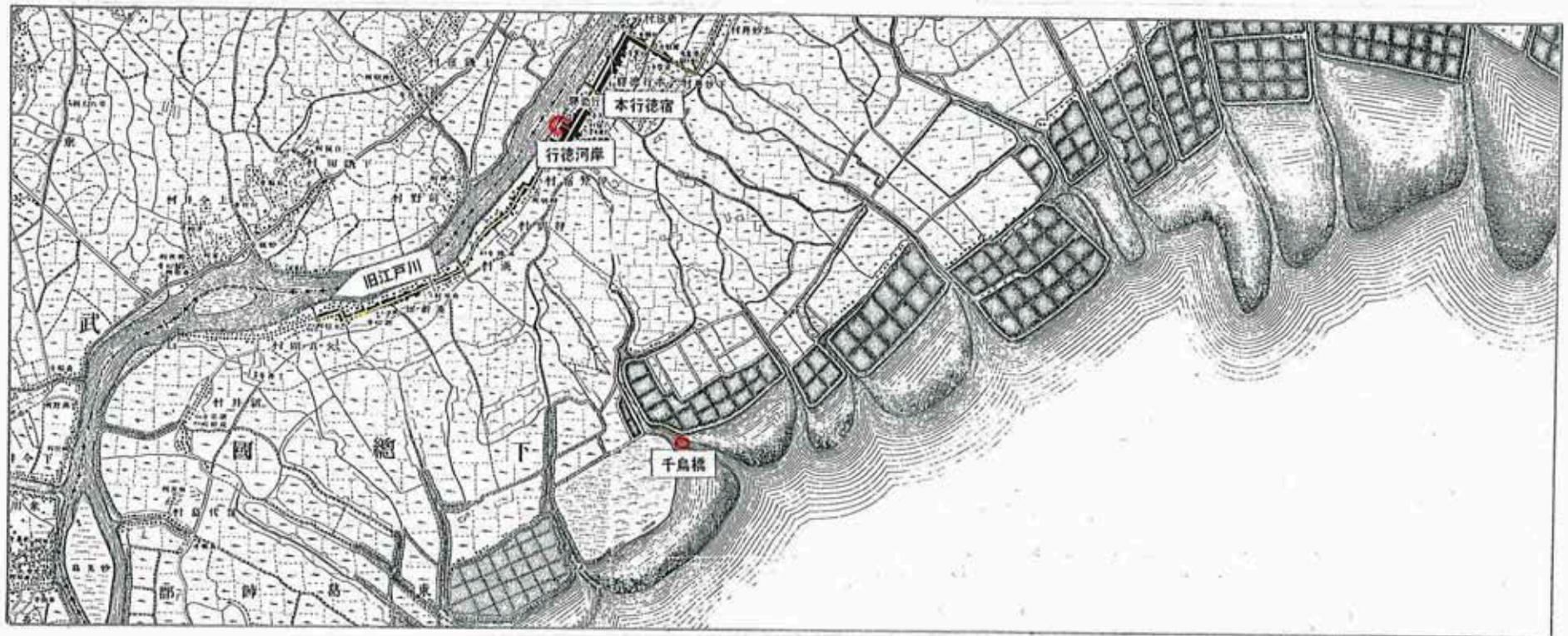
大きな平らな釜で煮て出来た砂に海水をかけ煮詰めて作った。

行徳汐浜



幕府の保護を受け発展し関東近隣で販売された。

鹽濱 同所海濱十八箇村に涉れりと云ふ。風光幽趣あり。此地に鹽を焼く事は、凡一千有餘年にあまれりと。此地の鹽鍋は、其製他に越え、堅強にして、保つ事久しとぞ。東八州悉く是を用ひて食料の用とす。



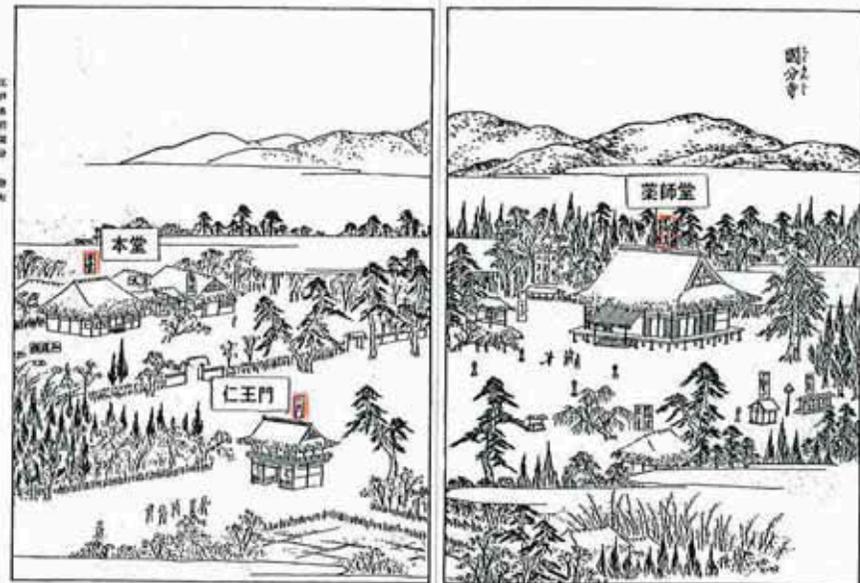
明治前期の頃の周辺図。塩田の様子がよく分かる。大正の震災で被害を受け衰退した。

Ⅱ下総国の古代の中心地で国府があった所Ⅱ



下総国の国分僧寺。何度か火災にあったが、現在の本堂は昭和17年この仁王門は同53年に再建された。尼寺は北西にある。

下総国の国分寺



真間の紅葉

手古那の社継はし



『広重名所江戸百景』

足の音せず行かむ駒もが
葛飾の真間の継橋
やまず通わむ

(万葉集)

万葉集にも詠まれて
いる。巻十四相聞歌。

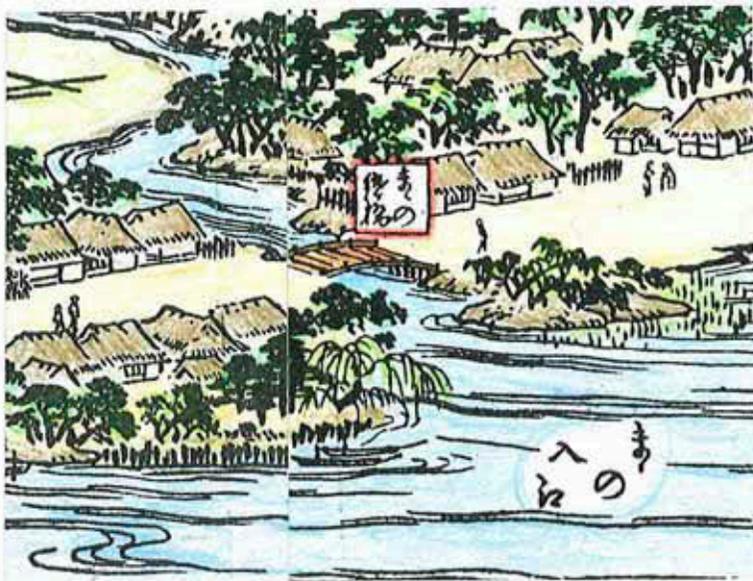
真間継橋

弘法寺の大門、石階の下、南の方の小川に架す所のふたつの橋の、中なる小橋をさしていへり。或人いふ、古は兩岸より板を以て中梁にて打ちかけた。る故に、繼はしといふなりと。さもあるべきにや。



この先の坂の上にある弘法寺への参道。

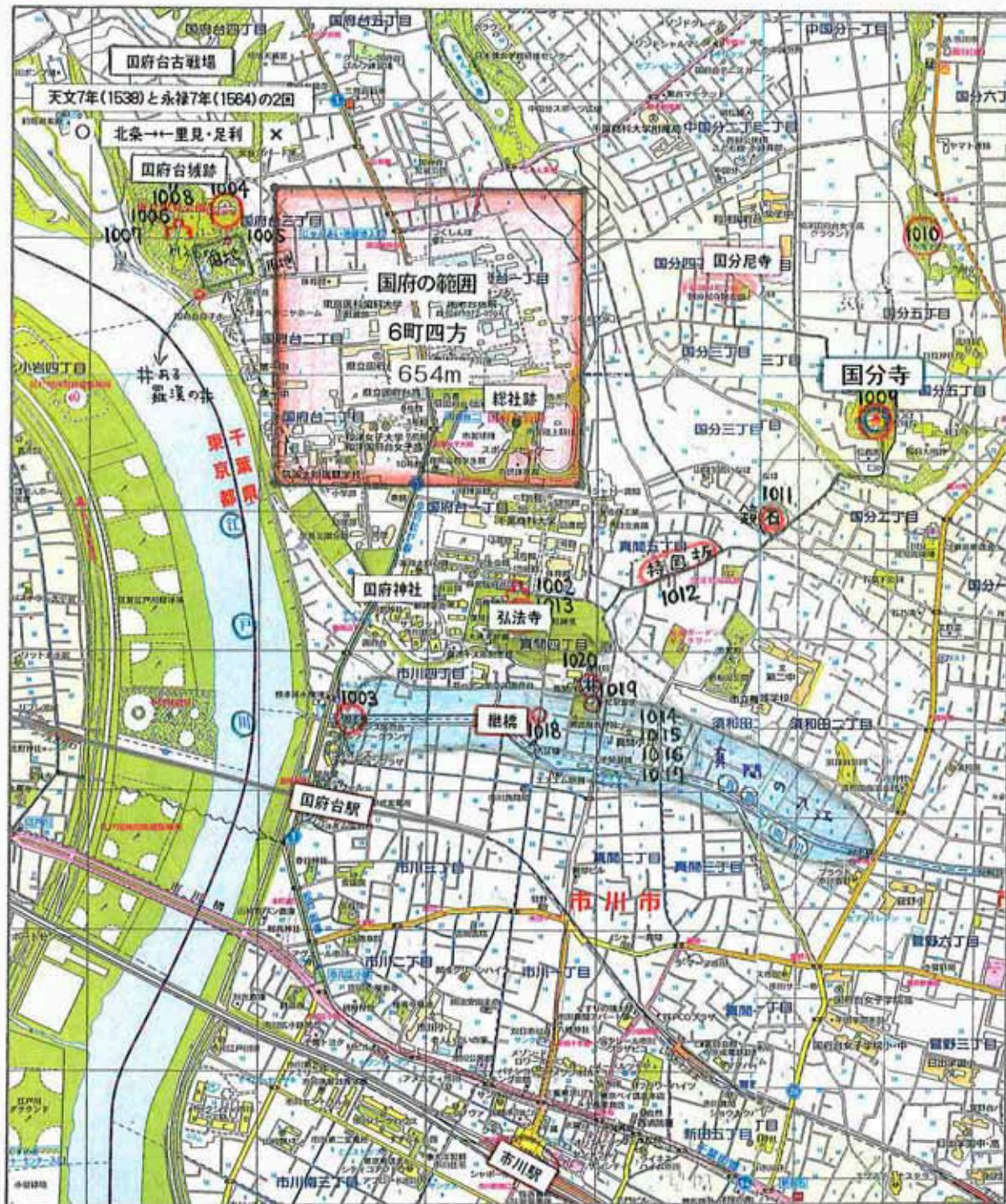
この時代の
 総軍寺の邊より真間の邊迄の岡を、すべてかく稱するなるべし。



江戸時代の頃の「真間の維橋」入江が入り込んでいた。



古代の東海道はここを通過していた。常陸国府へ
 続く。下地は大正時代の地図。『東日本の古代』



下総国府の周辺図。方6町四方654m×654mの広さがあった。

【参考文献】

- 江戸名所図会 上下 人物往来社
- 復元・江戸情報地図 朝日新聞社
- 武蔵名勝図会 慶友社
- 新編武蔵風土記稿 雄山閣
- 新編相模風土記稿 雄山閣
- 角川日本地名大辞典 角川書店
- 日本城郭大系 新人物往来社
- 江戸名所図会を読む 東京堂出版
- 今とむかし広重名所江戸百景帖 暮しの手帖社
- 江戸・東京 歴史の散歩道 街と暮らし社
- 大東京の史蹟と名所 博文館

【地図】

- リンクルミリオン地図 東京地図出版
- 各市町村の史跡・文化財案内地図

【表紙と裏の地図】

分間江戸大絵図 安政6年(1859)

須原屋茂兵衛版

この本は電子書籍になっています

◎本のタイトル又は下記のホームページアドレス
を検索しても同じものが見れます。

電子書籍・CD制作

株式会社

清水工房

〒192-0056 東京都八王子市追分町10-4-101
TEL.042-620-2626 FAX.042-620-2616
<https://www.simizukobo.com/edomaisyozue>

江戸名所図会100選

令和3年1月30日発行

著者

〒191・0062

東京都日野市多摩平 6の3の15

神谷 政明

TEL・FAX

042・581・5368

製本

〒192・0056

東京都八王子市追分町 10の4の101

株式会社 清水工房

《非売品》

※ご意見・感想などありましたらお聞かせ下さい。

